令和8年度 学校経営方針

丹波篠山市立今田中学校

【校訓】

鍛えよう　　考えよう　　手をつなぎあおう

【学校教育目標】

主体的に学び 自己実現に向かう こころ豊かな生徒の育成

～自らの幸福な人生を創り出していくために～

「主体的に学ぶ」とは

興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら学ぶこと。

見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること。

「自己実現に向かう」とは

目標や夢を持ち、理想の自分を目指して自分らしく成長し続けること。

失敗や変化を恐れず前向きに受け止め、他者と協力しながら困難や逆境に立ち向かうこと。

「こころ豊か」とは

思いやりや感謝の心を持ち、生命や人権を尊重すること。

多様な意見や考え方を知り、良好な人間関係を築くこと。

【目指す生徒像】

〇目標や夢の実現に向けて挑戦できる生徒

〇自分の考えや思いを他者に伝えることができる生徒

〇思いやりを持ち、人との関わりを大切にできる生徒

〇困難に立ち向かい、人と相談しながら乗り越えることができる生徒

【目指す学校像】

〇安全で安心できる居場所があり、生徒の考えや思いを大切にする学校

〇生徒の主体的な学びや生きる力、自立を支える学校

〇家庭や地域から信頼され、家庭や地域と協力しながら生徒を育てる学校

〇教職員が信頼し合い、やりがいを感じて働きやすい学校

【目指す教職員像】

〇情熱と愛情を持ち、生徒の主体的な学びを支えることができる教職員

〇専門性や人権感覚を磨き、新たな教育課題に対して挑戦できる教職員

〇さまざまな立場の教職員の意見を尊重し、相談しながらチーム支援ができる教職員

〇生徒や保護者、地域と信頼関係でつながり、生徒の成長を喜び合える教職員

〇ワークライフバランスを意識し、心身ともに健康で元気な教職員

【本年度の重点目標】

①社会的自立をめざした生徒指導

内面に対する共感的な理解を深め、人間的な触れ合いを通して、生徒のよさや可能性を伸ばす。

多様な他者との交流や体験活動を通して、生徒の社会性を培い、自立心や自律性の育成に努める。

他者と関わる機会を設け、協力したり違いを認め合ったりする仲間づくりを推進する。

いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応における組織的対応を徹底する。

生徒の相談できる力の育成に努める。

②特別支援教育の充実

生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生徒の可能性を最大限に伸ばす取組を目指す。

個別の教育支援計画や個別の指導計画をもとに、個々の生徒の実態に応じたきめ細やかな支援を行う。

多様性を認め合い、共に過ごすための取組を充実する。

③主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

生徒一人ひとりの学習進度や個性に合わせて学びを深める「個別最適な学び」を行う。

生徒が他者と協力しながら学び、問題解決を行う「協働的な学び」を行う。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をはかる。

ICT機器を効果的に活用し、少人数やTTによるきめ細かな指導を行う。

④キャリア教育の推進

自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための資質・能力を育成する。

社会の一員としての自覚や主体的に社会の形成に参画する意欲や態度を育成する。

⑤道徳教育の推進

他者や自己との対話により、生き方についての考えを深める道徳の授業を推進する。

対話的な学びを重視した授業を展開する。

⑥地域とともにある学校づくり

生徒の「生きる力」を育み、地域を担う生徒を育てるために、学校と地域とが目標を共有して、協働していく。

コミュニティースクール（学校運営協議会制度）を核として、地域全体で生徒の成長を支える活動を推進する。

⑦業務改善

「生徒たちと向き合う時間」や「授業の質を高める時間」を確保するため、ICT機器や共有データを活用し、業務効率を上げる。